



平成31年度 港区立白金小学校 学校経営計画

1 教育目標

個性的で創造的な行動と協動的で愛情ある行動ができ、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる人間を育てる。このために、次の合言葉を定め、児童・保護者・地域が誇れる学校づくりを推進する。

(合言葉) 自分をみつめ まわりもみつめ
 ひとを生かし 自分も生かし
 めあてをもって 努力を続ける

2 目指す学校像

「児童が楽しく学び、安心して登校することのできる安全な学校」

- ・児童が友達や先生に会うことを楽しみに安心して毎日登校できる学校を目指します。そのために、いじめなどの心配がなく、一人ひとりが大切にされる学校にします。
- ・楽しく学ぶためには、児童に「分かった」「できた」という喜びを感じさせることが大切です。そのために、達成感や成就感を得ることのできる授業を行い、学びに向かう力を育てます。
- ・安全な学校を目指します。そのために、交通事故や不審者、校内での怪我などから身を守る危険回避能力を身に付けさせます。

「保護者、地域から信頼される学校」

- ・学校での学習や行事の様子などを保護者や地域の皆様に発信します。そのために、児童が自ら学校のできごとを保護者に話せるようにするとともに、学校評価、学校評議員会などの意見を参考に、学校経営の改善を図ります。

3 白金小学校で培う素養と育てるべき資質能力

児童が、将来、国際社会で自己実現を図る人間となるためには、基礎学力や体力を充実させ国際社会でたくましく生きぬく素養と、ルールを守り国際社会で豊かに生きる素養を身に付けることが必要です。これらの素養を培い、人間性等を涵養するために、白金小学校の児童に育てるべき資質能力として、次の3つを重点として設定しました。

- (1) 人権尊重と豊かな心情
- (2) 深い学びによる自己実現力
- (3) 国際人としての資質

4 資質能力を育成するための目標と手立て

上述の資質能力を育成するための中期的目標と短期的目標を「港区学校教育推進計画」(平成27年2月)及び「港区教育ビジョン」(平成26年10月)に学校の特色を加味し設定しました。中期的目標は、平成31年度から5年程度を目途に取り組む内容であり、抽象的な表現(目指す児童像)になっています。短期的目標は、今年度重点として取り組む具体的な手立てです。

(1) 人権尊重と豊かな心情を育成する

○道徳、音楽、図工、特別活動を中心に

<中期的目標>

- ・人間尊重の精神を培い、人権を尊重することのできる児童
- ・相手を思いやり、協調的で愛情のある行動をとるとともに、自己肯定感の高い児童
- ・倫理観や規範意識、公共の精神を身に付けることができる児童
- ・美しいものや優れたものに接して感動する児童

<短期的目標>

- ① 人権標語づくりや道徳の時間、いじめアンケートの実施を通して、「いじめは絶対に許されないこと」「体でも心でも相手を傷つけることをしてはいけないこと」の指導を徹底する。
- ② 「相手の目を見て、聞こえる声でのあいさつ」ができるように、あいさつ運動をはじめとしたあいさつの意味や方法を理解させる指導を図る。
- ③ 白金スタンダード(児童が学校生活で守るべき約束)を徹底し、全学級で同じ方法で学習習慣・学習規律の確立を図る。
- ④ プラチナタイム(縦割り班活動)を充実させ、異学年交流を促進し、思いやりの心や協調性を醸成する。
- ⑤ 音楽や図工といった芸術教科の学習の中で、歌や作品に触れる感動や喜びを経験させる。今年度は、展覧会でその成果を発表する。
- ⑥ 合唱団を特設クラブとして学校組織に位置付け支援するとともに、音楽活動をともなう特別活動を充実させる。

(2) 深い学びによる自己実現力を育成する

○各教科、総合的な学習の時間を中心に

<中期的目標>

- ・自主性・創造性を身に付け、自ら学びに向かうことができる児童
- ・自ら課題を見付け、解決しようとする児童
- ・思考力・判断力・表現力等を身に付けた児童
- ・情報モラルを含む情報活用能力を身に付けた児童
- ・健康な体づくりの増進と維持への意識と実行力のある児童

<短期的目標>

- ① 主体的・対話的で深い学びのできる授業への改善を図る。
- ② 図書館とした連携した「調べ学習」を活用して、課題解決学習に取り組む。
- ③ 校内研究で「プログラミング教育」に取り組み、情報活用能力、論理的思考力を身に付ける。
- ④ 児童一人ひとりの学力、体力の状況を把握して、授業だけでなく、長期休業中や放課後に補充学習を実施し、基礎学力の定着を図る。

- ⑤ 体育・食育の授業改善を図るとともに、休み時間や放課後遊びで体力向上に向けた意図的な取組を推進する。
- ⑥ P T A公認スポーツ団体（バスケットボール、陸上）の活動を周知し支援する。

（3）国際人としての資質を育成する

国際科、総合的な学習の時間、特別活動を中心に

<中期的目標>

- ・積極的に外国の文化や言葉に親しもうとする児童
- ・コミュニケーション力の高い児童
- ・他国だけでなく、自国の歴史や文化を知ろうとする児童

<短期的目標>

- ① 国際科の授業や留学生との交流を通して異文化理解教育を推進する。
- ② 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で本校が応援する5つの国についての学習を進める。
- ③ 国際科の授業をはじめとした様々な場面で、外国語によるあいさつをできるようにすることでコミュニケーション力の基礎を培う。
- ④ 伝統文化教育、道徳の時間、社会科の学習等を通して、自国を愛する心や自国の歴史や文化を学ぶ。

5 資質能力を育成するための環境整備

資質能力を育成するためには教育内容の充実を図るとともに、学習を支える教育環境を整備することが大切です。教育環境とは、施設や設備だけではなく、児童にかかわる教員の指導力、家庭や地域との連携、外部人材の活用、また、教育活動を支援するシステムなども含まれます。

（1）自覚と指導力のある教職員の育成

児童を教え導く教師の人格や力量こそ、児童の学びへの意欲を培い、一人ひとりの可能性を伸ばすための大きな要因となるものです。さらに、一人の教員の力では解決できない困難な問題でも、複数の教員が組織的に対応すれば解決できる場合が多くあります。

学校の教育力向上を目指し、教職員の資質向上、組織的対応を進めます。

<中期的目標>

- ・教員の指導力の向上を図る。
- ・サービス事故を撲滅する。
- ・組織的な対応を徹底する
- ・自己の健康管理への意識付けを図る。

<短期的目標>

- ① O J Tおよび管理職による授業観察を通して、授業力の向上を図る。
- ② 授業観察や日頃の指導の様子をもとに、放課後等を活用した自主研修会や個別面談を通して指導力の向上に努める。
- ③ 教員を東京都教育委員会や港区教育委員会主催の研修や他校の研究発表会に積極的に参加させる。

- ④ 様々な課題について、学年、校内委員会など組織で対応するシステムを定着させる。
- ⑤ 養護教諭、校医、カウンセラーと連携し、教職員の心身の健康保持に努めるとともに、働き方改革の推進として校務分掌の見直しや定時退勤日の設定などを行う。

(2) 保護者・地域との連携強化

学校の教育活動を積極的に公開し説明するとともに、教員が積極的にPTA行事や地域行事に参加することで交流を図り、保護者や地域の方との情報の共有に努めます。

<中期的な目標>

- ・ 学校と保護者や地域の方との連絡を強化する。
- ・ 地域人材や企業、教育関係団体を活用する。
- ・ 児童が安全・安心に学校に通えるようにする。

<短期的な目標>

- ① 保護者会の実施方法を工夫し、担任と保護者、保護者同士が意見交換のできる場とする。
- ② 学校の教育活動を学校だよりやホームページで積極的に発信する。
- ③ 支援地域人材、企業、明治学院大学など、地域の方を授業で積極的に活用する。
- ④ 交通安全指導をはじめとし、学校・保護者・地域で児童を見守っていく。

6 取組の報告及び評価

今年度の取組状況については、保護者や地域の皆様に以下の方法で報告する。

- ・ 学校だよりに掲載する。
- ・ ホームページで公表する。
- ・ 授業参観、学校公開日に特色ある教育活動について紹介する。
- ・ 学校評議員会で報告する。

目標達成についての評価は、以下の方法で実施する。

- ・ 教員による内部評価を実施する。
- ・ 保護者アンケートを実施する。
- ・ 学校評議員による評価を実施する。

評価結果は、整理し考察を加え、年度末に保護者や地域の皆様にお知らせする。